

高校生のための 大学授業体験シリーズ ゲーム理論入門

高校生無料



日 時 10月16日 (土) 15:00~16:30

高校生専用講座コード 2131G113

講座名 高校生のための ゲーム理論入門

受講料 高校生無料

定 員 高校生20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画）も視聴できます。

●10月16日 (土) 15:00~16:30 高校生のための ゲーム理論入門

皆さんはゲーム理論という言葉を知っていますか？牛丼店が値下げの競争をしたり、トイレトペーパーがなくなると聞き人々がお店に買いに走ったり、中国と日本が領土のことで争ったり…このような企業の競争、社会現象、国家間の紛争などの、社会や経済のさまざまな問題を、個人や企業や国を「プレイヤー」と見なした「ゲーム」と考えて、数学によって分析する理論、それがゲーム理論です。

ゲーム理論は経済学の中で大きく発展し、経済学を塗り替えたと言われており、関連する理論が何回もノーベル賞を受賞しています。2020年のノーベル経済学賞を受賞した「オークションの理論」もゲーム理論によって作られています。また、政治学や社会学など経済学以外でも使われ、生物の進化や動物行動を分析するために生物学でも用いられています。特に最近では、コンピュータの科学である計算機科学や情報学でも、盛んに研究されています。

この講義では「ゲーム理論」とはどのようなものかを説明し、その解である「ナッシュ均衡」の考え方と代表的な理論について説明します。講義では、あまり数学は使わず、実際に受講者に簡単な「ゲーム」に参加してもらうなどして、ゲーム理論の解がどのようなものなのか、それが成り立つときと成り立たないときがどのようなときか、などについて一緒に考えて行きたいと思います。

ゼミナール ゲーム理論入門
(日本経済新聞出版社)ビジュアル ゲーム理論
(日経文庫)図解雑学 ゲーム理論
(ナツメ社)

お申込み方法 インターネットでお申込みください

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
- あらためて在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。(アンケートなど)



講師

わたなべ たかひろ

渡辺 隆裕

東京都立大学

経済経営学部 教授

講師略歴

博士(工学)。東京工業大学大学院理工学研究科経営工学専攻。東京工業大学助手、岩手県立大学助教授、東京都立大学助教授などを経て現職。専門分野はゲーム理論。特にオークションやリアルオプションへの応用など、ゲーム理論の工学的応用を研究している。著書に『ゼミナール ゲーム理論入門(日本経済新聞出版社)』『ビジュアル ゲーム理論(日経文庫)』『図解雑学 ゲーム理論(ナツメ社)』など。

高校生のための 大学授業体験シリーズ

地域学をはじめよう

高校生無料

オンライン



日時

11月6日（土）16:00～17:30
11月20日（土）16:00～17:30

高校生専用講座コード

2131G115

講座名

地域学をはじめよう

受講料 無料

定員 高校生20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための専用講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画）も視聴できます。

地域とは何だろうか。村や町、そして都市とは——意外にこうした問題に答えることは難しいものです。ですが、皆さんもどこかの地域に暮らしていることは間違いのない事実。この講座では、2020年末に刊行した『地域学をはじめよう』（岩波ジュニア新書）をテキストに、地域とは何か、地域学とは何か、その手法を手ほどきし、みなさんを地域学の世界へと誘おうと思います。

●11月6日（土）16:00～17:30

“足下の地域を見つめる”

さてこの本では、東京都立大学南大沢キャンパスの東門から出発しています。道を挟んで目の前にあるのが柳沢公園。この講座もここから出発します。八王子市というこの巨大な郊外都市にも多くの地域が息づいています。村があり、町があり、そしてそれらをつなぐ道があり…。まずは身近な地域の生態を探る手法を紹介していきましょう。

とともに講師である私は東京生活11年目。青森県や鹿児島県など地方に長く暮らしてきました。なかでも北東北の農山村・地方都市が専門です。その中から選りすぐりのフィールドを紹介し、地域学の実践例を示していきます。

●11月20日（土）16:00～17:30

“地域学をはじめよう”

地方には今いわゆる限界集落がたくさんあります。消滅間近と噂される限界集落ですが、限界集落の発見から30年を経て、なおもそのほとんどが消えることなく存続し続けています。それはなぜなのか。地域の持続可能性の手掛かりは“家”です。家が地域を構成し、また町を、都市を構成しているというメカニズムについて、2回目では考えてみましょう。

その上で、地域を具体的に見出していく方法にもふれていきます。この講義で、みなさんに自分の地域学をはじめめるきっかけをつかんでもらえればと思っています。



講師

やました ゆうすけ

山下 祐介

東京都立大学
人文社会学部
教授

地域学をはじめよう
（岩波ジュニア新書）

講師略歴

九州大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程中退。弘前大学准教授などを経て、東京都立大学人文科学研究科教授。専攻は都市社会学、地域社会学、環境社会学。津軽学・白神学の運動にも参画。著書に『限界集落の真実』『東北発の震災論』『地方消滅の罫』（ともにちくま新書）、都市の正義が地方を壊す（PHP）。2020年『地域学をはじめよう』（岩波ジュニア新書）。

お申込み方法 インターネットでお申込みください

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
 - 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
（飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分）
 - 電話 03-3288-1050（飯田橋キャンパス）
- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
 - ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
 - ・あらためて在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。（アンケートなど）

高校生のための 大学授業体験シリーズ

人口減少時代の都市計画・まちづくり

高校生無料



日 時 12月4日(土) 15:00~16:30

高校生専用講座コード 2131G116

講座名 人口減少時代の都市計画・まちづくり

受講料 高校生無料

定員 高校生20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信(録画)も視聴できます。

高校生の皆さんは、自分が住んでいるまちをどのように考えていますか。生まれた時からまちで暮らしている人は、それを「変わらないもの」「変えることが難しいもの」と考えていないでしょうか。そして、少子高齢化が進み、人口が減ると聞くと、「もうまちをつくらなくてもよいのではないか」と考える人も少なくないでしょうか。この講義ではこれからのまちをデザインし、つくる方法を考えていきます。

●12月4日(土) 15:00~16:30 人口減少時代の都市計画・まちづくり

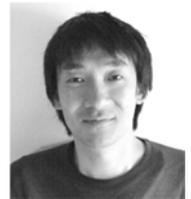
人口が増えるとともに都市は中心から外側へと拡大していきました。明治維新からの150年間で日本の人口は1億人増えたので、私たちは単純計算で1億人分の新しい都市をつくってきたわけです。しかし、2010年ごろをピークに日本の人口は減少に転じました。人口が減ると都市はどのように縮小するのでしょうか、そこにどのような問題が発生するのでしょうか。そしてその問題を解決するために、縮小する都市をどのように使っていけばいいのでしょうか。

この講義の前半では、まず人口と都市の関係の基本的な考え方とそこで起きる問題について、「過密」と「過疎」という二つの言葉を使って整理したうえで、どのような形態で都市が縮小していくのか「スポンジ化」という新しいキーワードで考えていきます。そして後半では、その都市空間を使って、これからの都市の問題をどのように解いていけるのかを考えていきます。空き地や空き家を活用した具体的なまちづくりの実践例と、それらの蓄積によって作り出される都市の姿についてお話し、「現実的な未来都市」の姿を共有したいと思います。

平成都市計画史
(花伝社)津波のあいだ、生きられた村
(鹿島出版会)都市をたたむ
(花伝社)自分にあわせて
まちを変えてみる力
(萌文社)

お申込み方法 インターネットでお申込みください

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受け付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
- あらためて在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。(アンケートなど)



講師

あいば しん

饗庭 伸

東京都立大学
都市環境学部
都市政策科学科
教授

講師略歴

博士(工学)。現在は東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授。専門は都市計画・まちづくり。現在までに、山形県鶴岡市のまちづくり、岩手県大船渡市綾里地区の災害復興、国立市谷保の空き家再生、世田谷区明大前地区まちづくりなどに関わる。現場での実践と都市計画やまちづくりの理論化を往復しながら研究を進めている。主な著書に『都市をたたむ(2015年 花伝社)』、『白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか(共著 2014年 学芸出版社)』、『平成都市計画史 転換期の30年間で残したもの・受け継ぐもの(2021年 花伝社)』など。『津波のあいだ、生きられた村(共著 2019年 鹿島出版会)』により2021年日本建築学会著賞を受賞。

高校生のための 大学授業体験シリーズ マーケティング・リサーチを学んでみよう

高校生無料



日 時 12月18日 (土) 15:30~17:00

高校生専用講座コード 2131G114

講座名 マーケティング・データから行動のストーリー化

受講料 高校生無料

定員 高校生20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画）も視聴できます。

経営学は経済活動における企業や組織を管理・運営するための方法論を研究する学問です。皆さんもマーケティングという言葉にはなじみが深いと思いますが、デジタル化の進展などにより、各企業は消費者の意識や行動についてのデータから人々の行動の背後にあるストーリーを発見しマーケティング活動に生かすためにマーケティング・リサーチを活用しています。本講座では本学の教員が、マーケティング・リサーチの方法の一部を紹介します。

●12月18日 (土) 15:30~17:00

行動を科学すると、ストーリーが見えてくる

企業が経済活動を行って行く際に消費者との接点が増えたことやデータのデジタル化により、消費者の意識や行動についての多くのデータが収集・集積され、それらのデータの活用が注目されています。これらのデータから、人の行動を数値化し、分析すると、対象となる人々の求めていることが見えてきます。代表的なデータはPOSデータです。これはPoint Of Salesの略で、レジを通して、いつ・どこで・何が・いくらで・どれだけ売れたか、といったデータが集計されていきます。これに「どんな人が」という要素を加えたものがID付きPOSデータであり、IDにより個人を特定することが可能となり個人の購買傾向に即した効果的なマーケティング施策を行うことができます。ID付きPOSデータとは顧客会員カードから得られる情報です。クレジットカードや百貨店の会員カード、ポイントカードが個人データの発信源ですが、スマホ決済サービス、オンラインショッピングの利用によっても個人データが入手可能となっています。こうした顧客会員カードは、割引やポイントサービス、パーソナライズしたクーポンの提供が受けられるため消費者にとって魅力的ですが、小売店側にとっても顧客の詳細な購買行動を把握できるところがメリットになります。本講座では、POSデータやID付きPOSデータを活用するとどのように人の行動のストーリーを発見することができ、マーケティング活動に生かすことができるのかを紹介します。



マーケティングリサーチに
従事するためのデータ分析・
解析法 (学文社)



Excelソルバー多変量
解析 (日科
技連出版社)



文科系の統計学
(培風館)

お申込み方法 インターネットでお申込みください

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
- あらかじめ在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。(アンケートなど)



講師

なかやま あつほ
中山 厚徳
東京都立大学
経済経営学部
准教授

講師略歴

博士(社会学)。立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻。日本学術振興会研究員、立教大学経営学部助教、長崎大学経済学部准教授を経て、現在は東京都立大学経済経営学部准教授。専門は行動計量学、マーケティング・サイエンス、マーケティング・リサーチ。店舗内購買行動、Webコミュニケーションデータが購買行動に与える影響などについて研究している。

科学が開く未来への扉

東京都立大学 研究センター紹介講座

高校生無料
会員・一般は有料

東京都立大学 研究センター

本学の研究は人文・社会・自然科学の各分野で高い水準にあり、それぞれの専門領域で優れた実績を挙げています。これらを有機的に結び、世界最高峰の研究拠点を目指すのが研究センターです。現在16のセンターを設置し、学内外に研究の成果を発信しています。

研究センターシリーズ「科学が開く未来への扉」では、本学研究センター最先端の研究成果を紹介していきます。



阿部 彩 教授
博士

子ども・若者貧困研究センターの概要

本センターは、日本における子ども・若者の貧困研究を学術的かつ体系的に取り組む研究拠点として構築するものです。本学人文社会学部を中心として、社会福祉学、教育学、社会学、心理学などの多彩な学術領域の研究者が一堂に集い、子ども・若者の貧困に関する研究を学際的に行っています。また、国内外の他大学、国際機関などの研究機関との連携も図りながら、日本の子ども・若者の貧困研究を推進する核となることを目指しています。

本センターのもう一つの目的は、子ども・若者の貧困に関する研究成果を自治体にフィードバックすることです。研究から明らかになった知識を、研修プログラムやテキストとして開発し、普及させていくことによってより多くの自治体に提供しています。

センターの先進性

日本においては、貧困を専門とする研究所が存在しておらず、社会福祉学、社会学、教育学、疫学、医学などのさまざまな子どもを研究対象とする領域において貧困が研究されているにも関わらず、それらの研究者が一同に集まりお互いの研究成果を交換し合ったり、協同研究を行うプラットフォームが構築されていませんでした。そこで、本センターは、異なる学術領域の研究者間、および、学会と行政とのギャップを埋め、子ども・若者の貧困に関する研究と政策が能動的に協働する場を提供します。

センターの未来像

本センターの役割は、日本における貧困研究のカタリスト（触媒）として機能することです。本センターからの研究成果がそれぞれの学会にて発信されることにより、貧困研究が日本の学会にて根付くことが期待されます。将来的には、貧困学の教科書の執筆、教育学、社会学、社会福祉学などの教育課程における貧困に関する講義の確立、教員養成課程や社会福祉士養成課程また高校生向けの貧困教育プログラムの開発も目指します。

東京都立大学 研究センター

子ども・若者貧困研究センター	宇宙理学研究センター	気候学国際研究センター	水素エネルギー社会構築推進研究センター
火山災害研究センター	エネルギーインテグリティシステム研究センター	地域共創科学研究センター	金融工学研究センター
コミュニティ・セントリック・システム リサーチコア	生命情報研究センター	言語の脳遺伝学研究センター	水道システム研究センター
金の化学研究センター	超伝導理工学研究センター	ナノ工学・メカノバイオロジー融合医工連携研究センター	ソーシャルビッグデータ研究センター

科学が開く未来への扉

子ども・若者貧困研究センター

日時 11月4・11・18・25日(木)
18:30~20:00



講座コード 00000000
高校生専用講座コード 00000000

講座名 日本の貧困を考える：子どもの貧困に着目して

受講料 10,100円(4回) ※高校生無料
定員 一般30名 高校生10名
場所 オンライン

本センターに参加する研究者は、子ども・若者および貧困の研究にて国内外で高い評価を受けており、様々な調査や分析、課題への提案など自治体へのフィードバックも行っています。本講座では阿部センター長と新進気鋭の研究者が様々な事例を中心に、子どもや若者の貧困の実態について紹介します。

講座スケジュール

※アーカイブ配信(録画)も視聴できます。

11月4日(木)
18:30~20:00

貧困を知る

日本における「貧困」とはどのような状態を指すのでしょうか？
どのような人々が貧困なのでしょうか？
貧困は増えているのでしょうか？コロナ禍はどれほどの影響を及ぼしているのでしょうか？これらの問いについて、社会科学的に答えていきます。

講師

東京都立大学 教授
子ども・若者貧困研究
センター長

あへ あや
阿部 彩 教授

11月11日(木)
18:30~20:00

日本における 子ども・若者の貧困の実態

「子どもの貧困」が深刻であるということは聞いたことがあるけれど、その実態がよくわからない・・・という方のために、東京を始め日本各地の子どものデータを用いて、子どもの生活の実態に迫っていきます。
そして私たちに何ができるのかを、一緒に考えていきます。

東京都立大学 教授
子ども・若者貧困研究
センター長

あへ あや
阿部 彩 教授

11月18日(木)
18:30~20:00

外国にルーツのある子どもの貧困

日本には多くの外国にルーツがある子どもたちがいます。この中には、外国籍の子どもだけでなく、片親が外国籍のお子さんや、生まれた時からずっと日本に住んでいるお子さんもいます。しかし、両親ともに日本人のお子さんに比べて、彼らはさまざまな面で不利な状況に置かれていることがあります。この講座では、外国ルーツのあるお子さんの生活実態をデータに基づいて明らかにしていきます。

東京都立大学
子ども・若者貧困研究
センター

やまもと なおこ
山本 直子 特任研究員

11月25日(木)
18:30~20:00

子どもの貧困とジェンダー

子どもは、ジェンダーレスな存在として語られることが多いです。しかし、実際には、男児と女児はさまざまな面で異なる扱いを受けています。「男の子だから」「女の子だから」といったバイアスは無意識に私たちの心の中に存在します。そして、貧困の状態についても、女の子と男の子では現れ方が異なります。この講座では、子どもの貧困をジェンダーの視点から見つめます。

東京都立大学
子ども・若者貧困研究
センター

かわぐち りょう
川口 遼 特任助教

お申し込み方法 インターネットでお申し込みください

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受け付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
- あらかじめ在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。(アンケートなど)

※高校生の参加は無料です。4回シリーズの講座ですが、高校生は1回だけの参加も可能です。

今、ジェンダーについて考える



東京都立大学オープンユニバーシティでは、オンライン スペシャル講座を開講しています。オンラインならではの特性を活かし、全国の研究者や専門家が登壇し、ユニークかつ興味深い講座を提供します。

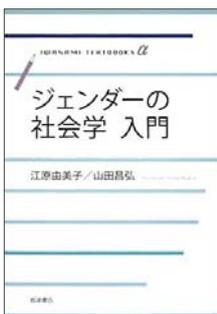
今回は『今、ジェンダーについて考える』をテーマに、8回シリーズの講義をお届けします。3ヶ月に渡る長期の講座ですが、ジェンダーに関する様々な研究や事例を紹介、ジェンダーについて考える機会となれば幸いです。

最近よく見聞きする「ジェンダー」とはどのような意味でしょうか。一般的には、社会的・文化的な意味づけをされた男女の差異ということになります。国連女性機関（UN Women）は、「ジェンダー」とは男性・女性であることに基づき定められた社会的属性や機会、女性と男性、女兒と男児の間における関係性、さらに女性間、男性間における相互関係を意味すると定義しています。また、こういった社会的属性や機会、関係性は社会的に構築され、社会化される過程（socialization process）において学習されるものとし、これらは時代や背景に特有であり、変化しうるものであるとしています。

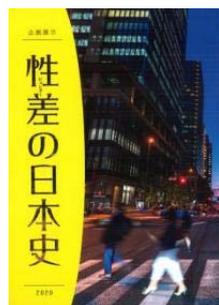
昨年10月6日から12月6日まで国立歴史民俗博物館（歴博）で開催された「^{ジェンダー}性差の日本史」企画展は、「なぜ男と女の区別が生まれたのか」という問いから、日本の古代社会から現代にいたるまでのジェンダーの成り立ちとその変化を、280点以上の資料を通して見つめ直しました。開催期間の2か月で2万人を動員、新聞各紙で報道されるなど、注目の高さが話題となりました。今回の展示プロジェクトの代表を務められた歴博の横山百合子教授は、「今も（性差をめぐって）悩みやモヤモヤ、生きづらさを抱えている人はたくさんいると思うが、歴史を振り返ると、私たちが“不変”で固まっていると思っている概念や制度、社会構造も、時代によって変わり得るのだとわかる。そこに希望を感じてほしい。」と語っています。

本講座では、「ジェンダー」をテーマに研究・教育活動に携わっている先生方・研究者に登壇していただき、様々な視点から考察していきます。本学教員、歴博の横山教授はじめ、お茶の水女子大学、大阪大学、一橋大学のそれぞれの研究者・専門家が、オンラインで講義します。ご期待ください。

本講座に関係する著作



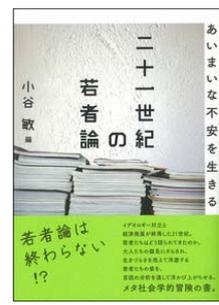
『ジェンダーの社会学入門』
江原 由美子 著作



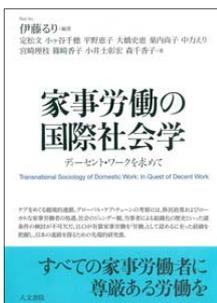
『性差の日本史』
国立歴史民俗博物館振興会



『江戸東京の明治維新』
横山 百合子 著作



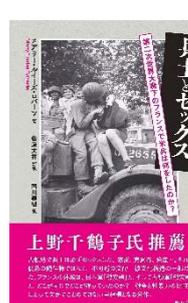
『二十一世紀の若者論』
杉田 真衣 共著



『家事労働の国際社会学』
大橋 史恵 共著



『アンチアクション』
日本戦後絵画と女性画家
中嶋 泉 著作



『兵士とセックス』
佐藤 文香 監訳



『哲学への権利』
西山 雄二 著作

日時	10月23・30日(土)	講座コード 高校生専用講座コード
	11月6・13・20・27日(土)	
	12月4・11日(土) 14:00~15:30	
講座名	今、ジェンダーについて考える	
受講料	16,000円(8回) ※高校生無料	
定員	一般60名 高校生20名	
場所	オンライン専用講座	

講座スケジュール

※アーカイブ(録画)視聴も可能です。

講師

10月23日(土) 14:00~15:30	ジェンダーって何? — 日常生活の中で考える 今、「ジェンダー」という言葉は、多くの領域で、使われるようになってきました。年一回発表される世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数や、SDGsの「ジェンダー平等」等、「ジェンダー」という言葉を聞かない日はないくらいです。この講義では、この「ジェンダー」概念について、あらためて確認するとともに、私たちの日常生活の中にある「ジェンダー」について、考えます。	東京都立大学 名誉教授 (元 首都大学東京 副学長) えはら ゆみこ 江原 由美子
10月30日(土) 14:00~15:30	<small>ジェンダー</small> 性差の日本史 I : 政治空間とジェンダーの視点から 女性政治家の大変少ない現代の日本—しかし、それは古くからの伝統なんでしょうか。古墳から出土した埴輪は、その地域の政治空間で活動する人びとを象っていますが、そこにはたくさんの女性がいました。古代から近代までの政治空間における男女の姿から、現代日本の政治をふりかえります。	国立歴史民俗博物館 名誉教授 よこやま ゆりこ 横山 百合子
11月6日(土) 14:00~15:30	<small>ジェンダー</small> 性差の日本史 II : 性の売買と社会 「売春は最古の女性の職業」という言葉は本当でしょうか。性の売買の実態やそれを表現する言葉は、性に対する意識や社会、国家のあり方によって大きく変化します。この講義では、売春のなかった時代から近代までの性の売買の歴史を、それぞれの時代の社会の特徴と関係づけながら考えます。	国立歴史民俗博物館 名誉教授 よこやま ゆりこ 横山 百合子
11月13日(土) 14:00~15:30	不安定な社会を生き抜く若い女性たち 「長く生きていくのは難しい」と話す若い女性たち。その背景には、日本の学校・仕事・家族が抱える問題があるようです。この講義では、先が見通せない社会にあってもなお、自らの手で自らの生活をなんとかつくりだしている彼女たちの姿から何が見えてくるのかを考えます。	東京都立大学 准教授 (人文社会学部) すぎた まい 杉田 真衣
11月20日(土) 14:00~15:30	再生産労働とジェンダー : 「逃げ恥」からグローバル・ケア・チェーンまで 2016年秋に放送されたドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」は、世帯内無償家事労働を評定する「OC法」を題材とし、大きな話題になりました。家事やケアは、誰もがそれなしには生きられないエッセンシャルな労働です。人間の生命サイクルを維持するための労働である「再生産労働」が、ジェンダーの視点においてどのように議論されてきたかを考えていきます。	お茶の水女子大学 准教授 (ジェンダー研究所) おおはし ふみえ 大橋 史恵
11月27日(土) 14:00~15:30	美術史におけるジェンダー アンチアクション 日本戦後絵画と女性画家 かつて「女流画家」という言葉がありました。女性の画家は、男性とは異なる表現を行うのでしょうか。それとも芸術に性差はないのでしょうか。こうした問いにこたえるために、今回は第二次世界大戦後、女性画家が活躍した時代に焦点を当て、田中敦子の作品を例に女性と創作について考えます。	大阪大学 准教授 (文学研究科) なかじま いづみ 中嶋 泉
12月4日(土) 14:00~15:30	軍隊・戦争をジェンダーの視点から考える いまやジェンダー平等は軍隊・戦争の領域にまで!? 戦争に協力し軍隊に参加する女性たちの現象は、けっして今日の新たな現象というわけではありません。また「女性兵士」の存在はジェンダー平等だけで片付くような単純な問題でもありません。歴史を紐解き、さまざまな表象を読み解くことで、「男らしさ」と「女らしさ」がいかに軍隊を支え戦争を推進してきたのかを考えます。	一橋大学 教授 (ジェンダー社会科学 研究センター) さとう ふみか 佐藤 文香
12月11日(土) 14:00~15:30	現代フランスにおけるジェンダー思想の展開 「ひととは女に生まれるのではない、女になるのだ」—実存主義思想家ボーヴォワールは戦後、『第二の性』でこう主張しました。人権宣言が生まれたフランスでさえ、女性の社会的権利や地位の獲得は容易ではありませんでした。現代フランスにおけるジェンダー思想の移り変わりをなるべく平易に解説します。	東京都立大学 教授 (人文社会学部) にしやま ゆうじ 西山 雄二

お申込み方法 インターネットでお申込みください

- **インターネット** www.ou.tmu.ac.jp/web/
- **東京都立大学オープンユニバーシティ窓口**
(飯田橋キャンパス : 平日9時~17時30分)
- **電話** 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)
- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受け付けます。団体・人数だけの複数申込みはできません。
- あらためて在学高校名と学年を確認させていただく場合がございます。(アンケートなど)

※高校生の参加は無料です。8回シリーズの講座ですが、高校生は1回だけの参加も可能です。